

## WILLIAM (BILL) DRAYTON

ウィリアム (ビル) -ドレイトン

ドレイトン氏は1943年英国貴族の末裔であるウィリアム・ドレイトン卿とオーストラリアから10代の頃ニューヨークへ渡った母親との間にニューヨーク市で生まれた。世界を変革する社会起業家を育成し、支援する世界的ネットワーク組織であるアショカの創業者／代表として社会起業の分野で最も尊敬され、「社会起業の父」と呼ばれる。

ドレイトン氏はフィリップス・アカデミー全寮制高校からハーヴァード大学へ進学。卒業後は英国オクスフォード大学院（ペリオル・カレッジ）、そしてイエール法律大学院で学び最優秀生として卒業。中学では学校新聞を刊行したり、大学ではアジア・ソサエティを、イエール大学では法律を学ぶ学生と現役の弁護士を繋げる会議を立ち上げるなどイノベーターとしての芽は早くから見られた。

大学院を終えてからは、ニューヨークのマッキンゼー&カンパニーに就職する傍らハーヴァード大学とスタンフォード大学で教鞭をとる。

その後カーター政権に加わり1977年から1981年まで環境保護庁（EPA）の副長官となる。この間に残した最も顕著な業績は「排出権取引」という画期的な排ガス対策の考案だ。この「排出権取引」は京都COP3の時に議論され現在各国が採用している。

マザー・テレサやフローレンス・ナイチンゲールなどの変革者が一世紀にひとりでするだけでは世界は大きく変わらないと大学生の頃から考えていた。変革者としてのポテンシャルのある人を見つけて育てたらどうか？という考えが彼の頭の中で培養され、1980年37歳の時、「アショカ」と名づけた組織を立ち上げることで、その構想を実行に移した。

（紀元前3世紀に人心に重きをおいて慈悲深い政治でインド統一をはじめたアショカ王の名前にちなんでいる。マハトマ・ガンジーの思想はドレイトン氏の原点である。）ドレイトン氏は今は世界中で使われるようになった **social entrepreneurship** = 社会起業という相反した社会福祉とビジネス起業を組み合わせた概念とその呼称の生みの親として知られる。

アショカでは、それまでは聞いたこともない全く斬新なやり方で社会矛盾に取り組んでいる人たちを「アショカ・フェロー」として選出する。そして彼らが収入を得るための仕事を離れて変革の活動に専念できるよう最初の3年間生活費用を支給し、さらに大手の法律事務所やコンサルティング会社、広報会社などを含むグローバルなネットワークに繋がったり、共通の問題に取り組むフェローを繋げるなどの支援を提供する。

1980年以来、アショカが選出出した「フェロー」は70カ国の約2700人。そのうち、50%が立ち上げから5年以内に活動する国の社会制度を変更するまでのインパクトを及ぼしている。また、フェローの生み出した画期的な解決策の90%が他の団体や機関にコピーされ広がっている。これまでにフェローは人口1000万人にひとりの割合で生まれている。

アショカ・フェローを5人紹介しよう。

## メリー・ゴードン MARY GORDON

ROOTS OF EMPATHY 創業者+代表

[www.rootsofempathy.org](http://www.rootsofempathy.org)

子供たちに「人の心の痛みを感じる」能力（エンパシー）を育てる教育プログラムを開発。生後間もない赤ん坊を通して共感能力を引き出す。週一回45分間のプログラムに9ヶ月間参加しただけで子供たちの間でいじめが90%減少するという調査結果が

でている。カナダ全国に広がった他、オーストラリア、ニュージーランドでは政府が教育に取り入れている。ドイツ、フランスにも進出予定。

デヴィッド・グリーン      DAVID GREEN      PROJECT IMPACT      創業者+代表  
[www.project-impact.net](http://www.project-impact.net)

「医療と薬品を貧民にもいきわたらせる」というミッションを掲げ先進国でしかアクセスのなかった白内障を中心とする眼科治療をインドなどの貧民にも安価に提供するシステムを創った。治療費をコスト以上、コストと同額、無料の三段階に分け先進国の病院よりも厚い利益を生んでいる。企業の活動内容自体が利益を生むと同時に社会を変革する起業モデルの極めつきの成功例である。インド他、エジプト、アフリカにも広がっている。

柘迫 篤昌      M.F.I.C.      創業者+代表  
[www.mfi-corp.com](http://www.mfi-corp.com)

先進国で働く途上国からの出稼ぎ移民の数は、世界で2億人を越し彼らの母国の家族への送金は年間36兆円にもなる。俗に **unbanked** と呼ばれる移民は銀行に口座を開くことを許されないため、これまでウエスタン・ユニオンなどの送金会社を通して12%~15%ほどの送金手数料を払って送金する。さらに現地の貨幣に変換する手数料が加わるため、母国の家族の手元に送金が届いた時は元金の65%にしかならない。MFICでは送金手数料を1%~3.3%まで引き下げた他移民労働者にローンや保険を安価で提供する。

デレック・エラーマン      DEREK ELLERMAN      POLARIS PROJECT      共同創業者

[www.polarisproject.org](http://www.polarisproject.org)

貧しい国から国境を渡って欧米や日本へ売り飛ばされる「人身売買」の被害者の数は推定90万人、そしてこの違法ビジネス世界での売り上げは推定8200億円に達する。人身売買は麻薬、武器に次ぐ第三の違法産業である。キャサリンはブラウン大学生のとき、この問題に取り組むNPOも存在しないのを知りポラリス・プロジェクトを立ち上げた。2004年に米務省から15万ドルの助成金を得て日本にも支部を開設した。

ウエンデイ・コップ      WENDY KOPP      TEACH FOR AMERICA      創業者+代表  
[www.teachforamerica.org](http://www.teachforamerica.org)

米国のトップの大学の成績優秀大学生が卒業後の2年間、米国の貧困区域の公立校教師となるプログラム。リーダーシップ、忍耐力、問題解決能力を備えたT.F.A.教師は大手企業が望む人材と重なるという理由で、2005年JPモルガン、マイクロソフト、P&Gなどが共同採用を始め、他の企業も後に続いている。

ドレイトン氏は過去30年間フェローを見つけ支援していく過程で、彼らのほとんどが子供の頃からイニシアティブをとって子供なりの変革を行っていることに注目した。また2700人のアショカ-フェローの内、500人が教育の改革に取り組んでいるという事実にも注目した。1970年代から世界中でそれまでの「たったひとつの正解を教師が子供たちに押しつける」教育はもはや作用しないという兆候は世界中で現れていたという。子供たちが主導権をもち自分の頭で考え判断するような教育が時代にあるという調査結果も重なり、1996年ユース-ヴェンチャー(Youth Venture)と名づけたプログラムを立ち上げた。ユース-ヴェンチャーは現在19カ国に広がっている。

「子供の頃に一度何かを変革するという体験をすればその人は一生チェンジメーカーであるだろう。だから子供にチェンジメイキングのスキルを教えることは数学や国語のスキルと同様、いやそれ以上に大切だ。」とドレイトン氏は語る。

ユース・ベンチャーのプログラムは普通、中学生と高校生を対象として課外授業として行う。すべてが「自発的」でなくてはならないという前提からカリキュラムに入れることは控える。子供たちの「こんなことが嫌だ。その状況を変えたい。」という意思を尊重し、その意思を出発点として実際の変革のソーシャル・ベンチャーを立ち上げるところまで誘導する。そして立ち上げの費用を与え、最低1年間の運営をしてもらう。

ドレイトン氏は、世界7区域に変革のカルチャーを根づかせることができれば、そこから世界中に広がっていくと考えている。そのひとつが日本だ。同氏は日本の影響力に注目しており昨年春から中国と平行して支部立ち上げの準備が始まり現在は代表者を募集中である。日本ではユース・ヴェンチャー・プログラムの立ち上げを先行させて、5月には東京でパイロット・プログラムを実行し7月初めまでに子供たちの創ったソーシャル・ヴェンチャーを5～10件実際に立ち上げる計画だ。

なお、同氏はアショカとは別に失業（米国では失業者は現在約9000万人）と環境悪化の二つの社会問題を繋げる解決策として、企業の雇用税軽減+環境税の設置を提唱している（Get America Working! という非営利団体を立ち上げた）

---

ドレイトン氏がその業績に対し受けた数々の賞の主なものは；

- US NEWS&WORLD REPORT の選ぶ “25 BEST AMERICAN LEADERS”（2005）
  - HARVARD 大学の”100 MOST INFLUENTIAL ALUMNI” 賞（2006）
  - YALE 大学の “HONORARY DOCTORATE OF HUMANE LETTERS”賞（過去の受賞者は Benjamin Franklin, Martin Luther-King, JF Kennedy 他）（2009）
- またビル・クリントン大統領をして「私がノーベル平和賞を与えるなら彼以外は考えられない」と言わしめている。